

## 料金収入の確保が重要課題

シリーズ第1回目で挙げた上下水道の3つの課題である①人口減少による料金収入の減少、②施設の老朽化対策、③激甚化する自然災害への備え、この課題を解決するために、料金収入の確保が最重要です。この問題を先送りしても、解決する方法はありません。

皆さんに安心安全な水の供給と快適な生活環境を継続するためには、利用される方にも公平に負担していただき、安定した経営環境を保つ必要があります。このことから、料金改定は避けられない状況です。

## 独立採算を目指して

町は、借金の返済や施設の維持管理のための一定の収入確保の試算と営業費用の圧縮などから平成50年度までの経営状況を予測しました。基準外繰入金を減らし、経営の健全化のために必要な料金収入を試算すると、水道事業の場合で料金改定率が165%増となってしまいます。下水道料金も値上げするため、利用者負担をどこまで下げることができるのか検討を重ねました。

### ■料金改定（案）3つのポイント

- ①料金収入で経営をできるだけ維持できるように、料金回収率を上下水道50%程度まで高める  
※料金回収率…経費に対して料金収入により回収した金額の割合。
- ②一般会計の財政を圧迫しないように基準外繰入金を減らす
- ③少量利用者に配慮した料金体系

## 料金改定（案）を議会に提案

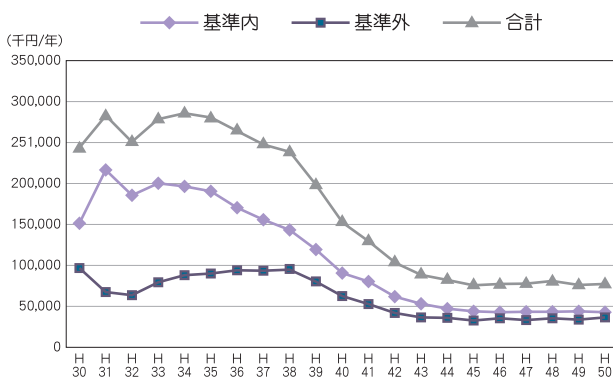
上下水道料金の改定をについては、昨年の地域懇談会などで皆さんに説明してきましたが、1月開催の臨時議会で、上下水道料金改定（案）を提案し、改正案は総務常任委員会に付託されました。現段階では、平成30年6月利用分より水道料金改定率は約20%、下水道料金改定率は約29%として提案しています。  
※付託…検討をするため審査を委員会に託すこと。

料金改定は利用される方にとって大きな負担となりますが、事業の健全な運営のため、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

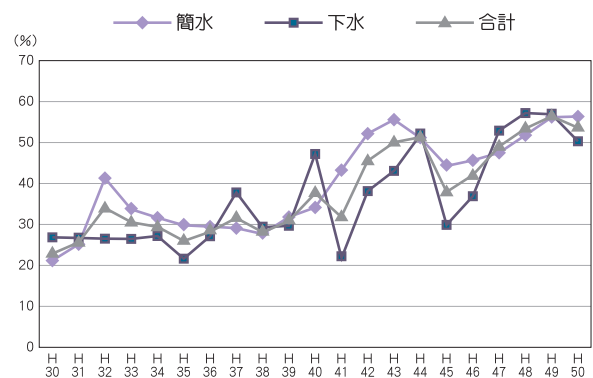
今回の内容で、ご意見・ご質問がありましたら施設整備課水道管理係にご連絡ください。  
(52-3314)



簡水+下水事業繰入金の推移(料金改定後)



料金回収率の推移(料金改定後)



シリーズ「おけとの水③」、次回の掲載は3月号を予定しています。